

活力あふれる農村地域の発展事例から学ぶ  
— 土地改良事業の実施地区から —

令和3年3月  
農林水産省

【工夫のポイント】

- 基盤整備実施後、排水性が大幅に改善。**高収益作物の導入により、農業生産額が向上。**
- 事業を契機に農事組合法人を設立。**9割以上を法人へ集積**し、地域農業が活性化。
- JAとの契約栽培により、**安定的な法人経営**を確立。壱岐焼酎の原料となる**二条大麦の安定供給**に寄与。

【取組地域の概要】

○位置  
いしし  
長崎県壱岐市(離島)



○主要作物  
・水稲、麦、たまねぎ、葉たばこ

○主な支援施策  
・県営農地整備事業(経営体育成型)  
(H21~H29)

農地の大区画化が実現し湛水被害も解消

ほ場整備による大区画化・客土と併せ二級河川の改修を実施。排水不良も改善され、**大型農機の導入**が可能となり、**高収益作物の作付け**も実現。



基盤整備  
(H21年~H29年)

【整備前】

低平地で湿田が多いうえ、豪雨時は河川が氾濫して農地が湛水するなど、**非効率な営農**を余儀なくされていた。



基盤

基盤整備を契機に農業生産法人を設立

- 将来にわたって農地を維持・継承するため、**集落ぐるみの営農**を検討。
- 基盤整備を契機として、**農事組合法人「刈田院」を設立**(平成27年8月)し、地区内農地の約9割以上を集積。



担い手

生産コストの削減と安定的な農業経営

- 大型機械の導入による**効率的な生産体制**を確立。また、事業にて休憩所・トイレを整備し、**安心して快適な労働環境**を確保。
- 特産品である壱岐焼酎の原料となる**二条大麦の契約栽培**により、**安定的な農業経営**が実現。



生産現場

営農環境の大幅な改善により収益が向上

- 基盤整備により営農条件の改善が図られ、本地区における**大麦や玉ねぎの作付率が向上**。また、高収益作物の導入により**生産額や農業所得額が増加**。
- 排水不良の改善により、園芸品目の導入も可能に。

